

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：第1・第3水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL0475-70-0200 FAX70-0220
- 会長：高野 祐二 幹事：板倉 孝雄
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 齊藤 幸男・会報担当 石田 英世



2020年10月21日(水)

第22巻第 10

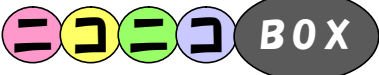
通巻第953号

http://www.oamirotary.com
E-mail rc@oamirotary.com



点 鐘 会長 高野 祐二
ソング 我らの生業
会長挨拶 会長 高野 祐二
幹事報告 幹事 板倉 孝雄
プログラム

会員卓話 四之宮 由己 会員
「佐倉宗吾郎の話」



高野祐二会長・板倉孝雄幹事
漆原がバナー、大変お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございます。心より歓迎いたします。
小倉光夫会長エレクト・石田英世副幹事
漆原がバナー、本日はようこそおいで下さいました。益々クラブが盛り上がるように頑張ります。
四之宮由己会員
漆原ガバナーの訪問を心から歓迎いたします。
板倉孝雄幹事
誕生日祝いありがとうございます。
板倉達夫会員
誕生日祝いありがとうございます。
関谷清一会員
誕生日祝いありがとうございます。72才です。
清宮満巖会員
誕生日祝いありがとうございます。

例会日	10月7日	9月16日
会員数	30	30
出席	19	19
欠席	11	11
MU	0	1
免除	0	2
出席率	63.33	73.33

漆原ガバナー公式訪問



両クラブ会長挨拶

茂原中央RC会長 神明 重美 様



皆様、こんにちは。茂原中央ロータリークラブの会長を仰せつかっております神明と申します。本日は漆原ガバナー、三枝ガバナー補佐、地区委員の方々ようこそおいで下さいました。コロナ禍のなか、私達のクラブもいつものような活動が思うようにはできず、そのなかでどのような活動をしていこうかと日々模索しています。今日の懇談会では漆原ガバナーと有意義なお話をさせていただきました。この懇談会でのお話をクラブの例会等で報告をさせていただきながら、より良いクラブを目指していこうと思っています。私達のクラブは若手の会員が大分増え元気はありますが、半面経験不足というところも多々ありますので、様々なセミナーに参加させていただいたり、諸先輩方のお話を聞きロータリーとしての知識を深めながら、尚且つ会員の増強をしていければと考えています。また大網ロータリークラブさんとも長い友好関係を築かせていただいておりますが、年代も変わり知らない方もいらっしゃると思いますので、引き続きゴルフや様々な行事を通して末永く仲良くより良いロータリーを目指していければと思っています。最後にこの会場を設営していただいた大網クラブさんの皆さまに感謝を申し上げ、茂原中央ロータリークラブと大網ロータリークラブが絆を深めながら、共により良いロータリークラブを目指していくことを祈念して私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

大網RC会長 高野 祐二



皆様こんにちは。
昨今のコロナ禍でセミナー・記念式典・事業など、延期もしくは中止になる中、無事に開催されますこと誠にうれしく思います。
本日は、大変お忙しい中を国際ロータリー第2790地区ガバナー 漆原撰子様、第7グループガバナー補佐 三枝巖様、また地区関係者の方々、ようこそお越しく下さいました。心より歓迎いたします。そして、親クラブであります茂原中央ロータリークラブの皆様にも、大勢の参加いただき誠にありがとうございます。この場をお借りしまして、大網ロータリークラブ20周年のお礼を申し上げたいと思います。3月に予定しておりました 記念式典ですが、コロナ禍の影響がありまして残念ながら中

幹事報告



①10月の例会のお知らせが届いています。
茂原中央 RC (例会 4 回)、東金 RC (例会 4 回)、
成田空港南 RC (例会 3 回)

②米山記念奨学生卓話決定のお知らせ

11月8日(水) アリム君(中国) 同行予定者
(当クラブ 佐藤委員長 (2790 地区委員))

③ガバナーノミニオン・デジグネート

(2023~24 年ガバナー) 公表

千葉若潮 RC 鶴沢和広氏 (S32 年生まれ)

④RYLA 実行委員のご推薦のお願い

⑤R L I 通信(ロータリー・リーダーシップ研究会)が届いています。

⑥※ロータリー財団ニュース

※R I 日本事務局からリソースのご案内

⑦「不可解なメールが事務局に届いています」
GoToEat キャンペーンに際する事業者登録に関するもの。

メールアドレスが RC からもれている?→大多喜 RC の諏訪氏(幹事)から届いています。

ビジター紹介

勝浦ロータリークラブ

千葉 正徳 様

中村 吉政 様

10月誕生祝い



斉藤 敏夫 会員 S18	(1943)	10.2
関谷 清一 会員 S23	(1948)	10.9
板倉 孝雄 会員 S28	(1953)	10.11
清宮 満巖 会員 S21	(1946)	10.16
板倉 達夫 会員 S10	(1935)	10.20
矢部 慎一 会員 S27	(1952)	10.28

おめでとうございます。

止になりましたが、こうして現在までクラブ活動の継続が出来ましたのも、親クラブであります茂原中央クラブのお力添えがあるからでございます。当クラブの設立の際にご尽力いただきました、大網クラブの特別代表であります 穴倉正胤様、また岡 武様この場をお借りしまして改めて感謝いたします。当クラブも20年、人でいうと二十歳、成人を迎え大人の仲間入りをする事となりました。クラブの歴史はまだまだですが、人としての歴史は、かなり充実している会員が大変多く在籍しております。そういった方々の意見を聞き入れながら、今後も設立メンバーであります四之宮会員のモットーでもあります「楽しくなければロータリーではない」を実践しつつ、また今年度の RI 会長のテーマであります「ロータリーは機会の扉を開く」をもとに、更なる支援活動や奉仕活動をして、また若い会員の入会を目指して、新しい扉を開いていきたい。そういう風に思っております。

今日は、次年度のグループ編成、ガバナー補佐の任命のあり方など、いくつかのクラブが疑問を呈しているようですが、卓話の中で、ガバナーからの経緯の説明があるかと思えます。

例会後に行われます 協議会が有意義なものになるよう ガバナーのご指導をいただきまして、皆様方のこれからのロータリー活動が実りのあるものになります事を祈念致しまして、まともらない話ではございますが挨拶とさせていただきます。

今日はよろしくお願ひいたします。

漆原摂子ガバナー挨拶



伺い出来ました。

さて、直近開催の RI 理事会においていくつか強調事項が発表となりましたが、特に、R I 理事会と R 財団管理委員会は、従来の6つの重点分野に加え、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この新しい重点分野は、グローバル補助金によって実施される奉仕プロジェクトの新たな対象となり、あるいはこの分野を専攻し海外の大学院で学ぶ学生への奨学金支給対象となります。この申請は来年度からスタートとなりますが、詳細が分かり次第、またご案内致します。

また皆様ご周知の通り、つい先日 WHO はナイジェリアの野生株ポリオフリー宣言を致しました。そしてこの活動に大きく貢献したとして、アメリカ「TIME」誌は、毎年選考する「世界で最も影響力のある100人」のひとりに、ナイジェリアのバスターガバナーであり国際ポリオプラス委員会のメンバーである、ツンジ・フンショ氏を選びました。ポリオ根絶の取り組みによりこの栄誉を受けたロータリー会員は、フンショ氏が初めてとなります。

改めてご紹介致します、今年度の R I 会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めての R I 会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義だと思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそ R 再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常(ニューノーマル)」に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、R I 会長の指示でございますので、お話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はロータリーアクトクラブの拡充が言われています。ロータリー

両クラブ 米山記念奨学会授与式



(左) 茂原中央ロータリークラブ
中国 グザヌルさん

(右) 大網ロータリークラブ
スリランカ国 ロシャーン君

ネパール識字率向上支援寄付



ネパール ラジブ・シュレスタ 様

＜ 寄 付 者 名 ＞

大網ロータリークラブ
四之宮 由己 会員
板倉 孝雄 会員

一の正会員に入るのは年齢的にも仕事の上でも会費納入の面でもまだ余裕のない30代、あるいは40代前半をターゲットとしたローターアクトクラブの設立は、地域の活性化に繋がるかもしれません。このような若い人たちの活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、R Iの4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかかわりを促すという、R Iの4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われまます。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め（これもR Iの4つの行動計画のひとつです）、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていたいくことも一考です。まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

冒頭申しました通り、ナイジェリアは、野生株ポリオフリーとなり、現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増しています。一方、ロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在は各国の医療機関に、コロナ感染拡大の防止に利用してもらっています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。R Iの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えている状況です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は136カ国で4,000を超えるクラブが5,900件以上のイベントを実施しました。今年はコロナ禍のため実施は困難かもしれませんが、バーチャルな方法や三密を避けた方法など、そのアイデアをいくつかご紹介します。

- ・ ポリオ根絶特別例会：ポリオ根絶の動画を上映したり、ポリオに詳しい人を卓話に招き、まずは会員の認知を高める。
- ・ バーチャル講演会／パネル討論会：感染症やワクチンの専門家、ポリオ経験者などを講演者やパネリストとして招き、一般の人でも視聴できる方法でオンライン配信する（Zoom、フェイスブックライブ、YouTube ライブなど）。

・ 赤いTシャツを着て応援：10月24日にEND POLIO NOWのTシャツや赤いTシャツを着た自撮り写真をソーシャルメディアに投稿し、ポリオ根絶への寄付を呼びかけるなどです。東京三鷹RCの事例をご紹介します。オンラインでチャリティコンサートを開催、YouTubeで広く一般向けに配信し、演奏の合間にポリオ根絶へのご理解や寄付を促すといった計画です。また山梨県甲府市の甲斐ロータリークラブは、従前は街頭で募金活動を実施していましたが、今年はコロナ禍のため断念、代わりにこのようなエコバッグを作成し販売して、利益はポリオプラス基金へ寄贈するという活動をしていらっしゃいます。いずれにしても、10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。YouTubeでの地区研修協議会でもお話致しましたが、今年は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサービスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、R I事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するという事は、先程から話に出ております、R Iの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal Of Serviceの実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。

多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育



国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク様よりビデオメッセージが届きました。



むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次の The Ideal of Service の実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブの会長さんには、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開をお願い申し上げます。またクラブの各委員長の皆様は、この図の中で、それぞれどの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、引き続き、The Ideal of Service を実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましょうと申し上げて参りました。一方RIは、ロータリーの基本理念は不変であると言いつけています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画(中長期的計画)をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、ロータリーの5大奉仕部門においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、ロータリークラブだからこそ、そのような人づくりが出来るのです。私自身としては、ロータリーって何?と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。

ここで、来年6月に開催予定の台北国際大会のビデオをご覧ください。当地区参加目標は150名、現時点で登録済の会員数は32名です。また登録料は、今年12月15日までは365ドルですが、それ以降ですと440ドルに値上がりとなります。また6月13日の夜には、千葉ナイトと称して皆様と交流を図る晩餐会もご準備しております。万が一コロナ禍により中止の場合でも、登録料はきちんと戻って参りますのでご安心下さい。間もなくクラブオールでご案内を致しますので、移動も近い台北に是非一緒しましょう。ご清聴ありがとうございました。

